

令和元年度代表者卒業式 理事長・学長式辞

今年度の卒業生の皆さん、ご卒業を心からお慶び申し上げます。

本年度の学位記授与式は新型コロナウイルス感染症予防のため、学生諸君の健康と安全を考え全卒業生が一同に集まる式典は取りやめ、各専攻や各研究科の代表者のみの学位記授与式とさせていただきました。本来ならば皆さんにとって大切な記念すべき式典であり、教職員一同皆さんの門出をお祝いできますことを願っておりましたので、とても残念に思います。この事態が早く終息して新たな第一歩を笑顔で踏み出すことができますことを祈念いたしております。

さて、本学は、「自由・愛・正義」の建学の精神の下、1959年に創設され、昨年創立60周年を迎えました。開学以来、本学は、産業や社会の発展に貢献するため、教育と研究の振興に取り組んでまいりました。この間多くの優秀な卒業生を輩出し、社会の発展に寄与してまいりました。

皆さんも今日からは、本学の輝かしい伝統を担うこととなります。自覚と誇りを胸に、それぞれの職務に邁進していただきたいと思っております。

今後の社会は、大きく変化し、皆さんが活躍する時代は、AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の高度な先端技術が、価値観から日常生活、さらには社会そのものを大きく変化させるような、いわゆる「超スマート社会」が到来すると言われております。

グローバルな観点からは、国や民族の間で「分断」が深刻さを増し、内外で「対立」が高まっています。国内でも、富の経済的な格差や世代間の隔たりによる葛藤があるのも事実です。

変化に対応し、様々な課題を克服して、人々がのびのびと生きるためには、皆さんのような、柔軟な発想のできる若い人たちが、社会に積極的に参加することが何より大切だと思っております。

皆さんには、本学の建学の精神をもう一度思い出していただきたいと思っております。

「自由・愛・正義」という建学の精神の中に、様々な違いを乗り越え、我々を協力させる重要な考え方が示されていると思っております。

「自由」は、自己的な自由だけを意味していません。自由から生じる責任、他人の自由を認める寛容さが含まれています。

「愛」は、相手の立場や考え方を理解し、相手を尊重し相手を思いやる心だと思っております。

「正義」は、自由と愛を根底として、社会を構成するためのルールの下、公明正大な方法を選択することだと考えます。

本学の教育のモットー「創造と人間性」にも触れておかなければなりません。

社会が発展し、人々が豊かに暮らしていくためには、常に実用性の高い、新しいものを創り出していくことが必要です。イノベーションを含めた「創造」は、社会が繁栄するための重要な要素です。

人々が互いの違いを前提として、共に生き、共に発展していくために最も必要なものは、相手の心情や立場を思いやることのできる豊かな「人間性」であります。

新しい時代の担い手となるために、本学の建学の精神と教育のモットーの意味を、皆さん一人ひとりにもう一度考えていただきたいと思っております。

今後は、本学で修得した学識や、身に付けた豊かな人間性を発揮して、社会の発展に積極的に寄与されることを期待しております。

最後に、皆さんが健康で悔いのない人生を過ごされますよう、心からお祈りして、本日の式辞といたします。

令和2年3月23日

愛知工業大学長

後藤泰之